E

阿田

高會議

トフは對日關係に関して左の如く述べた大戰勃發によつてソ聯の外交方針に重大な變化

本リン宮に開催、劈頭モロトフ外務人民委員は 來最初のソ聯第五次最高會議が三十一日夜クレ

次聯合委員會は

子を帶びてぎたが三十一日バリに達した戦況報道次の通り=し伸軍が未完成のまゝ放棄した塹壕を發見したと傳へられる傾に進入した最初のニユースである、関境突破の地點につい低に進入した最初のニユースである、関境突破の地點につい

ランス軍も高射砲をもつてこれに對抗し國境線内百六十粁の地點まで侵入軍は再び砲撃を加へ來り國境線内十粁の地點にあるフランス都市はドイツリ州一日發國通』ドイツの攻撃態勢に伴ひ獨佛國境の襲雲は漸く本格的調表がないが前線のドイツ軍は佛軍國境哨戒線のすぐ後の第二防禦線に進入

國境際

軍

础

一、リュクサンブル附近のモーゼル渓谷、一、これより東した獨機一機を撃墜した、また左の三地點で活潑な地上戦闘軍の猛撃を浴びた、一方ドイツ軍用機はさかんに越境し來つ軍の猛撃を浴びた、一方ドイツ軍用機はさかんに越境し來つ

猛攻、これを西方に

酸は一昨廿九日敵州四師の一 「漢ロ州一日發國通」京漢線 「西側地區信陽西南百キロ淅河 西側地區信陽西南百キロ淅河

企畫院書記官 曾 彌 益 於て第一 中心議場の一體の一部門に重

の他各司法關係方面と種治政府、中華民國臨時政 はつた、而して同奮議 一回連絡會議を開催す でした。 でしていたが愈々

本務共助に関する重要議題の とになつてをり日満間の司法 とになつてをり日満間の司法

【○○基地州一日發國通】陰 の荒鷲山口、山崎、内藤各部 様の大編隊をもつて西隔海線 表の要質養難を急襲、同停車 基並に軍事施設を爆碎多大の 家 東 連 絡 會 識 開 催 法事務共助

寶鷄を空襲

製造元 秦 宗 高峰含社 比留間商店 東京市芝区折橋 - ノナ

題とする日満司法事務理とする日満司法部では獲ねて日間の一般に即應し法制全国の司法部では獲ねて日間を開発を

川俣隊の猛攻

來る六日から新京で

事 往 來

務を命す ・ 選 激





スローマ州一日会園通」イター 一方閣の大政造を決定その冒險 表した、右によればムソリー 二首相(ならびにその策職)

左の通り

第幹部にも は國軍首脳

郷閣僚の更

送注目さる

懸案の日滿開拓國策

議會で最後決定

2出、先遣除に闘して12で附與し、經費は日本

側原案殆ど無修正で可決

断策は國家百年の民族大移

(-)

海軍武官歡送會

で盛大に開催された【窓鹿は田籍少勝の歌送別會は一日正午から張線町で る人物駐禰海軍武武・日本

開拓域策の全貌

日滿院茶蔵策大綱左の如して、日滿院茶蔵策大綱左の如して、日滿兩國政府分級部門で割ける責任分野の限定 の業務區分詞整、日崩機的には新拓、荊州國

街大同大市别特

荷鉛

ク巡

51 京梅ケ枝町一 西 (8)



の日

野

田 松佐米荒佐東山伊見井小原本倉木樓 本澤明築杉 本倉 九郎 三一太四

◆待島作氏(蔣鐵社員)同
◆永井憲維氏(官吏)同
◆日向阜側氏(會社員)蔣蒙
・古村善滅氏(同)同
◆田中乾一氏(叢山業)同
・田中乾一氏(叢山業)同
・同日健太郎氏(輕金屬社員)

中澤壽氏(被服製造工場) 池田未弘氏(滿鐵社員)同 春井鬢一氏(國際運輸)同

松山清次郎氏 (平松洋行)

彦氏 (教員) 大都ホテ

事)同 ・ (會社員) 同 ・ (の業) 同

日本



H

ム興

亞

奉公日

参拜者に

賑ふ新京神社

新京驛前發車一口月末日迄▼毎日午

儲蓄債券當籤

一時間平に短縮されることで

朝の新京神社参拝の女學生 南の新京神社参拝した【寫眞は今 の精神を發揮した【寫眞は今 の精神を發揮した【寫眞は今 の精神を發揮した【寫眞は今

節の住辰をトし午前九時國防軍人會新京聯合分會では明治軍人會新京聯合分會では明治

(二).

上の好成績を挙げてゐる新京一の中心部から遠距離に調体法の運用について豫期以一區法院ではその新在神

から協和會内で店開き

過法院が出張所

ては不便と

野社観光バス望行 野社観光バス望行 で 通 株 式 へ 観光バス運行 バス運行時間を左の通り變更 時間變災御知らせ

調停はこちら

御遠慮なく

法院では更に一

寫眞技師募集

給料七、八十圓以上 年齢廿五六歳迄

海拉湖中央大街一八こがい寫眞館へ履歴書御送の方は十一月一日迄に左記へ御來談下さい(二

館内

自頻町五人四新京商業學校長 市日午後十一時頃ダイヤ街天 学で友人といもに次酒自宅に 東るべく賽山前で客馬車を拾 でそのまゝ行先きも告げず寝 人つでしまつをのを見た馬車 たはこれよき獲物とばかりに 大經路を買っしぐら、馬車が 市 新天地東天街孫善房後馬路の 大 暗闇に差しかくるや頃はよし た とみて取者はいきなり寝入る た たいた同氏は咄嗟に立ち直つ で 天した同氏は咄嗟に立ち直つ で 大した同氏は咄嗟に立ち直つ で 大した同氏は咄嗟に立ち直つ

全市に非常線を張つて犯人馬 長通路署で直ぐ様本廳と連絡 長通路署で直ぐ様本廳と連絡 連捕に至らない

車上に寢込んで

三十一日午後八時五分頃日本 橋通三五金泰洋行洋品賣場か ら滿人男が革製ジャンバー(た満人男が革製ジャンバー(た期限店員夏兆財(一九) 君は引つ捕へて日本橋通派出 一〇一正光社店員徐相麒(三 九)でジャンバーの他電氣ア 九)でジャンバーの他電氣ア イロン(二十圓)手提カバン 外交員張炳然(三〇)が中央 通郵府局前に自轉車を置いて 所用中洗濯物(四百三十八圓 五十銭)を自轉車諸共窃取し た事實を自白した 金泰で萬引二件

年日満婦人一體の満洲國防婦 年日満婦人一體の満洲國防婦 を會長に著るしき罐進を象げ その活躍は日々目覺ましきも のあつたが、民生部では更に これを擴充强化し國防國家體 しめるため組織を財團法人と して全國的に統一强化し協和 會と協力本格的指導訓練に移 | 「成式は十一月上旬擧行、日滿| | 「麻婦人を打つて一丸とし强力 | まで擴充の手を差し伸べるこ

員や得た 松岡副局長歸京

各機關歷訪

▲七・三〇嗣演(新京)中村 ※次▲七・四〇滿洲便り(新 京)▲八・一〇郷土ニュース (龍本・外)▲九・二〇歌謡曲 「武漢略つとも外敷曲」(東

今頃主なる放送 團體往來(一日) 午後一時〇五分奉天から

0 名

強襲度此段切に御顧申上候 尚御得意様に對しては鋭意工傷修理 申候段深謝奉り候 昨夜工場出火に際し多大の御 ツ製 麺 五 場のに御願申上候のに御願申上候 電新 話京 透 西 透 四馬吉 迷惑御掛け *0 場内支店

所

おは住所不定李原浩(一七) と云ひ、靴下八足(十六圓) 歯ブラン並にケース、爪切各 一個を窃取してゐた、余罪取 又同八時五十分資準品部から靴下七、八足を素早く萬 りした滿人男を同所で買物 けやうとするのを捕へて派 ばやうとするのを捕へて派 倉地章君(孫吳)青年團祝鳳 君(連山陽)の三君が代表し て證朝たる宣誓をなし、十二

すはとで離京

新京滿洲與業銀行本社 新京滿洲與業銀行本社

、小切手掛號

小切手盜難無效廣

店り〇六五三

犯罪季節の訪れではある、そして警民一致、總力以て防犯に一段の完整をと呼ばれてゐるを願しつゝある、正に触ぐ强盗、窃盗事件相次いで全市大捕物陣が繰り展げられ年末への行進と共に慌しい世相を展開しつゝある、正にかける等積極的に活躍しつゝあるが、この鐵壁防犯陣の網の目をくゞる犯罪は早くも市内隨所に羞起、昨夜は左の犯罪季節の訪れに直都警察廳司法科では防犯の完重を期し深夜を觸いて不遇從輩の一齊檢案に或は防犯協會に働き犯罪季節の訪れに直都警察廳司法科では防犯の完重を期し深夜を觸いて不遇從輩の一齊檢案に或は防犯協會に働き

!警戒せよ犯罪季節

1 され同十一時終了した され同十一時終了した

|協和會館で嚴肅な授與式

志崎新京商業校長

會を

人に改組

固し

一前八時着列車で大連から瞬 田した神田企豊處長は一日 日した神田企豊處長は一日

株式會社間組新京出張所

下一日

一、氣持良く期らかに働ける店、旅費へルピン行女給さん夢集 音時間在日 人屋族館 1950年後五時間自午前十一時至午後五時在日一週間 ハルピンサロン零波主人 外屋旅館

私事過日某會社の用事にて蒙古林西に出張し九月八日歸京致しました所蒙古出張し九月八日歸京致しました所蒙古北した入院中は種々と御心配下さいました日々様に不取敢紙上を以つて厚くした皆々様に不取敢紙上を以つて厚く

株式名義書換停止公告業書換を停止致候

滿洲煙草株式 會社

電業五 本社講堂で記念式典 周年

取締役出席の上 が取締役出席の上 を始め前孫副 で始め前孫副

義勇奉公隊

上比要性系)。 直ちに軍差廻しの自動車で軍 大會館に入つた、新京には兩 三日滞在し軍當局と打合せの

整塞の関境において國防第一線の重賞を果す勇士慰問のため貴族院駐禰部除慰問團、黒木三次伯、島津忠彦男、小坂梅吉の三氏は卅一日午前十一時四十二分斎のそみで軍官民時四十二分斎のそみで軍官民の出迎へをうけて東京、

〇一中央モーター會社員上木 久夫(二五)は三十日午後現 金五十個ならびにオートバイ 加タイヤ三本(時價二百五十 側)が拐響行方を晦したので 三十一日中央通署に上木の取

四)は脇炎で死亡したこと判の金(五三)は不明、臭計(五

占金(五三)は不

冬のベビー服と肌着品揃ひ 愛國シ

午後六時まで營業



特超季春度年四十和阳活日

畵映揚發神精道皇

中野忠晴

がある▼とんと見なれない をがある▼とんと見なれない。 をがある▼とんと見なれない。 をがある▼とんと見なれない。 をがある▼とんと見なれない。 をがある▼とんと見なれない。 をがある▼とんと見なれない。 をがある▼とんと見なれない。 をがある▼とんと見なれない。

お通夜の

くんだがネ」と、別総務の正のたりはさもしくて嫌やだか

客の口からたて

んでは国るがなどと観察学のなけますの数は空いてゐる。なり銚子の数は空いてゐる。

からの励りがは

の心の中、流石に顔色には出ったかったが「おい!」と客の方がら際を掛けられて「勘の方がら際を掛けられて「勘をかな」と思つたのは早合書い、だけあつて料理は美味いいくだけあつて料理は美味いいくだけあつてが後が不可ない、「私はこれからお通夜に行く」



あきら(江戸川 地紀子(棒澄) 由紀子(棒澄) 古紀子(棒澄) 恵津子(里見

放送局が今度東賓の企園せる 電業映畵齋藤文雄原作「君を 事実京の女性」で全面的に應援開放 することへなつた、即ち同映 されば脚色八佳利雄、演出は「 東京の女性」で達者な手腕を となった、即ち同映 をで出演者は東賓若手總動 をで出演者は東賓若手總動 をで出演者は東賓若手總動

間と言ふ長大さで、又々関節これが為映窓時間實に廿一時 奏を大路あどを禁局 して見ると、そのフィ、然し撮影を終つて

撮影を許可しなかつた新設の従来絶對に映畵の舞臺として 果實新音樂映畵

其、の 長篇 東の他の問題作「風と共に去りぬ・ が、は撮影開始以来、主役 りぬ」は撮影開始以来、主役 りぬ」は撮影開始以来、主役 山田緋作及びその指揮による日本放送交響楽園、JOる日本放送交響楽園、JO東側勝太郎、由利あけみ、奥順勝太郎、小原樹 全長何と十六

全二十五

卷!!

. 近

枝(音羽久来子)三木の穏 信特に豪華音樂映畵として誇 るに足る樂壇の特別出演者が をの如く決定し錦上花を添え ら長春座に再演 とは明白年ら實際問題として を長十六萬呎のクキルムの内 にして映寫時間三時間廿六分 にして映寫時間三時間廿六分 **満映滿洲多の** 生活」を自主製作す

による。 による。 は、一方の一方では、 は、一方では、 の一方では、 の一方では、 の一方では、 の一方では、 の一方では、 の一方では、 の一方では、 の一方では、 の一方のでは、 の一方である。 でした。 の一方では、 の一方である。 でした。 の一方のでは、 の一方である。 でした。 の一方である。 でした。 の一方のでは、 の一方である。 でした。 の一方である。 でした。 の一方である。 でした。 の一方のでは、 の一方である。 でした。 の一方で、 の一方で の一方で

をいぶ客だ、早く時へりやが をいぶ客だ、早く時へりやが ありマ「成程ネ、お通夜に吞 がにゆくとは考へましたネ、 質際お通夜には呑んでいもゆ かねばやり切れませんからネ かしくなつちまぶ方でネ、呑ん 戸でネ……」 だんぢやお通夜は動りません 方は大丈夫、私は元來泣き上 方で、ネ……」

べく目下企劃中である 講洲の多、極寒零下三十度 講洲在住の人達は別として 強い國に住んで居る人達は 寒い國の人々はで居る人達は 寒い國の人々はで居る人達は とい事であらう。此の映畵 たい事であらう。此の映畵 たい事であらう。此の映畵 たい事であらう。此の映畵 たい事であらう。此の映畵 を構のだらりそして又知り たい事であらう。此の映畵

1 かべ 多 のうる 2



店開日

呈進品粗

滋 繁店獨特の

妻職花の子の大き

潮近萬松

西 并介 空眼 人東麗防治

来 阪

勇

を公開する るをの 町で逝いて一年、今 ぞ尊き英靈に此の 一篇を捧ぐ!! 原作故 山中 貞雄 高峰 山田五十鈴 河原崎長十郎 公一演黨 の若者達の苦鬪史! 輝ける時代映畵の先驅者山中貞雄の遺産を翻承し (新しき出数を劃す のブルースに乗せて、新獣寅次郎が異色俳優を撰りす 前進座一黨の満々たる 野望に注目せよ! 秀子 ク・ミネ 寅次郎聯 ギャグで響 **東齊峽灣提携作品** 前進座一黨 十錢 清川 サトウ・ロオロー 千葉早智子 中村翫右衛門 都十一 111 玉枝







東省實業株式會社

Li在所 机京特别市大同大街四〇六2 東拓ビル内 (電2四九一七)



(M)

多勇

志

各地商品市况

五十三





主支の熱意を信頼

談心を盡

成立を支援

|藤書記官長は左の如く發表した||一日の臨時興亞院會議は午前に引續き午後も討議を續行し新政権の成立に對する帝國政府の態度を決定し二時十分散會した、上、阿部首相が宮中に參內天皇陛下に拜謁委曲奏上することとなつた

興亜院會議におい

印編發 刷棋行 人人人

兩面は、質は西北とかというシス、アメリカは勿といはゆる接蔣工作というでも加へてところがこことを意味すたところがこの支那の歌とところがこの支那後助といとところがこの支那後助といいはゆる接蔣工作

下だけを基礎とするものでは、 なくて、ずつと手近かな、表見 心が質の根據地であること、 地が質の根據地であること、 地ではだうしてはどうしてはどうしてはどうしてはどうしてはどうしても、 を前提としなければならない。 全で前提としなければならない。 全で前提としなければならない。 た日英東京會談しても、これらい。 全で前提としなければならない。 た日英東京會談しても、これらい。 全で轉換を闘る為に、日米姿 係の轉換を闘る為に、日米袋 係の轉換を闘る為に、日米袋 様を始めるとか傳へられるが

して或る程度の譲歩をしさう のイギリスは、一應日本に對 のイギリスは、一應日本に對

大いに動いてゐることは既に 独りからのみではなくて、老 張りからのみではなくて、老

し世界一の坊ちやんアメリカは、今やそれこそ世界平和の 番人は乃公なりてふ意氣込みで、われらの東洋に口ばしを うしてこの我儘坊ちやんが、 うしてこの我しなりない。さ に思はれるし、事實そんなけ いやに東洋問題をせつ・ 單に弱きを助け强

カの知ら

中のところ今般諸工事竣功來る十一月

弊社新京飛行場は狭隘を告げ新築工事

新京飛行場移轉御通

知

三日より新飛行場に移轉致しますから

舊に倍し御利用の程御願ひします



新京駅

場広同大

及川司 3 令長官 初の會見

ことに感謝に堪へない次第 力を賜りつゝあることはま力を賜りつゝあることはまれを方面からあらゆる御協本各方面からあらゆる御協本を方面がらあらゆる御協

「寫真官及川司令長官上」



軍艦

旗はためく出雲

西尾支那派遣軍總司令官と會

自見した汪精衛氏は一日午前十 時半族艦出雲を訪れ、支那方 断半族艦出雲を訪れ、支那方 の公式會見を行つた、鑑上に 出迎へる將兵の敬禮に鄭寧な

重慶の和平云々は

須磨情報部長デ

の牽制

か交方針説明に際し日ソーロのソ聯第五文最高會議

決意を左の如く重ねて開明し

、上海駐在武官岩村少 長官室に入りこゝで及 で表音を変の正氏は直ちに 國交正常化を歡迎

と力强く述べた、次いで長官 心難しの抹茶を賞美した後一 同は甲板に席を移し、晴渡つ た秋空にはためく軍艦族の下 に籐椅子に腰を下し及川長官

佐伯防備隊新設

除式を舉行せられるこ

一月一日大分縣佐伯防備隊を は同隊司令に任命せられたり は同隊司令に任命せられたり (東京関連) 湿傑上尉は一日 大佐佐藤波蔽 (東京関連) 湿傑上尉は一日 大佐佐藤波蔽 (東京関連) 湿傑上尉は一日 大路である。

新飛行場

での説満洲國官邊の觀測

たが、爾後歐洲大戦の勃蒙に よりソ聯の態度にも若干變化 大が、爾後歐洲大戦の勃蒙に 大が、爾後歐洲大戦の勃蒙に 大であつた駐日大便に大きであった。 大であつた駐日大便に大きであった。 最近浦鹽及び島蘇里江に於て 和留されてるた日本船及び満 が調もや、停頓し勝ちであった。 大であった駐日大便にスメタ たことはあったが、全般的に は満り関境に於けるソ聯の態度に検に たことはあったが、全般的に たことはあったが、全般的に たことはあったが、全般的に は満り関境に於けるソ聯の態

極東の場合に於ても同様である、たゞ滿洲國側として も國境の明朗化は勿論希望 は日本ソ関交の正常化に 協力せんとすることは歌迎 なるところである

砂又はコミンテルンによる ・ これは日り関係を不快 を要するところで、これは ・ の場所を ・ で、 ・ これは ・ には のの場所を ・ で、 ・ これは ・ には のの場所を ・ で、 ・ これは ・ これは ・ これは ・ にい。 ・ これは ・ にい。 ・ にい。 ・ にい。 ・ にい。 ・ これは ・ にい。 ・ これは ・ にい。 かまできる格本数

防水工 新京朝日通り八番地

防防凍水 事責任施工請負保証 シフカー工事新京營業所 凍急結劑 セメント

対職物資交流に拍車 四企畫處長歸任談

食糧 目下津田農産科長 る、明年度の對日大豆供給 る、明年度の對日大豆供給 る、現年度の對日大豆供給 る、現年度の對日大豆供給 で、現年度の對日大豆供給 で、現年度の對日大豆供給

は日本に委からは、 は日本に委からは、 は日本に委がもないである。 は日本に委がらは、 は日本に委がらは、 で満洲では、 は日本に委がらは、 である。とである。 は日本に委がらておかないである。 とが考慮したか、要請したか、要 であるとを温別した。 である。とである。 は四本に委がらておかないである。 は日本に委がらておかないである。 は日本に委がらておかないである。 は日本に委がらておかないである。 は日本に委がらておかないである。 は日本にの希望は満

側でも右調整令は九・一八物でも右調整令は九・一八物であるから漸次緩和乃至整理して行く方針であるとのことだ

糧穀統制法令

V

0

怒濤

英驅逐艦

相当りがよければ来年四月以降 は今後餘り期待出来ないが出 を来年三月迄に相當貰へることに決つたのでこちらからは とに決つたのでに相當貰へることに決ったのでに相當貰へることになってある。

でだいます。 でだは、 一でだいます。 一でだいます。 一でだいます。 一でだいます。 一ででは、 一の一ででは、 一の一ででは、 一の一ででは、 一の一ででは、 一の一ででは、 一の一ででは、 ででは、 ででは、 のでは、 ののでは、 のでは、 のでは 見透し き十二月だ

取扱業者に

の意買買し致

電話③二六四四番

精力御利用下さ



秋 祭民 東 売 新京祝町三丁目 (南廣場與銀横)

滿洲國特許商標登錄 諸書類作成 黑

田實法律事務

電話③五四四日本福通上9四日本福通上9四日本福通上9四日 四人三九少番 で現はれ、結實しよ 初支那の經濟提携の促

利

品

那に於電の戰

日滿州國政府間に積極的

注目を惹く點はかねて親獨的 博相デイノ・アルフイエリ氏 が退いて無任所大臣となつた こと、これも從來親獨派と噂 されてゐたスタラーチェ黨書 されてゐたスタラーチェ黨書 とにファシスト黨の實權的地

る政治

る、ムソリーニ首相は 一十一日發國通」イタ 関の大政造に關しフラ 内においては一般に右 人でイタリーが嚴正な とする新傾向を示 せんとする新傾向を示 せんとする新傾向を示 かたものとの解釋を下

一大 と と は は は 現 が と は は 現 が と なる 模様で、 入體 左 の か と なる 模様で、 入體 左 の か と なる 模様で、 入體 左 の か と なる 模様で、 入體 た る こと と なったが、 これが 満 し た る こと と なったが、 これが 満 し た る こと と なったが、 これが 満 し た る こと と なったが、 これが 満 一、 日本 側 中 小 商業 者 満 洲 移 僧 対策 等 が 論 議 の 中 心 と なる 模様で、 入體 左 の か と な る 模様で、 入體 左 の か と な る 模様で、 入體 左 の か と な る 模様で、 入體 左 の か と な ら で は 日 満 経 異 異 異 異 と と な った と な る 模様で、 入體 左 の か と な ら で は 日 満 経 異 異 異 異 異 ま で は 一 日 満 な で は 一 日 満 な で は 一 日 満 な で は 日 満 な で は 日 満 な で は 日 満 な で は 日 満 な で は 日 満 な で は 一 と と よ な った こ は 日 満 な ら び に 組 繊 は 現 下 の の 機構 な ら び に 組 繊 は 現 下 の の 機構 な ら び に 組 繊 は 現 下 の の 機構 な ら び に 組 繊 は 現 下 の の 機構 な ら び に 組 繊 は 現 下 の の 機構 な ら び に 組 繊 は 現 下 の の 機構 な ら び に 組 繊 は 現 下 の の 複 構 な ら び に 組 繊 は 現 下 の の 複 構 な ら び に 組 繊 は 現 下 の の 複 構 な ら び に 組 繊 は 現 下 の の 複 構 な ら び に 組 繊 は 現 下 の の 複 構 な ら び に 組 繊 は 現 下 の の 複 構 な ら び に 組 繊 は 現 下 の の 複 構 な ら び に 組 繊 は 現 下 の の 複 構 な ら び に 組 繊 は 現 下 の の 複 構 な ら び に 組 繊 は 現 下 の の 複 構 な ら び に 組 繊 は 現 下 の の 複 構 な ら び に 組 繊 は 現 下 の の 複 オ ら び に 組 繊 は 現 下 の の 複 オ ら び に 組 繊 は 現 下 の の 複 オ ら び に 組 繊 は 現 下 の の 複 オ ら び に 組 繊 は 現 下 の の 複 オ な ら び に 組 繊 は 現 下 の の 複 オ ら び に 組 繊 は 現 下 の か は か は 現 す ら が は れ か ら が は れ か ら が は れ か ら が は れ か ら が は れ か ら が は れ か ら が は れ か ら が は れ か ら が は れ か ら が は れ か ら が は れ か ら が は れ か ら が は か ら が は れ か ら が は れ か ら が は れ か ら が は れ か ら が は か ら が は か ら が は れ か ら が は か ら が は か ら が は れ か ら が は か ら が は か ら が は れ か ら が は か ら が は か ら が は か ら が は か ら が は か ら が は れ か ら が は か ら が は か ら が は か ら が は か ら が は か ら が は か ら が は か ら が は か ら が は か ら が は か ら が は か ら が は か ら が は か ら が は か ら が は れ か ら が は か ら が は か ら が は か ら が は れ か ら が は か ら が は か ら が は か ら が は か ら が は か ら が は か ら が は か ら が は か ら が は か ら が は か ら が は か ら が は か ら が は か ら が は か ら が は か ら か ら が は か ら か ら が は か ら が は か ら が は か ら が は か ら が は か ら か ら が は か ら か ら が は か ら が は か ら か ら が は か

連絡があるのではないかとのでいるとのではないかとのではないかとのではないかとのではないかとのではないかとのではないかとのではないかとのではないかとのではないかとのではないかとのではないかとのではないかと

農畜產部門

充實整備

點

產業部明年度

に當つては農産物増産 一百萬圓に對し五割程 形必至と見られ産業開 で加度に示すものと で加度に示すものと

Δ

10部以

M.0

だべいべかく機

学形交換高(二日)

リー内閣大政造に關して最も

位から軍事的立場に轉じたことである、但し外交團方面の 批評では右の更迭は外交政策 的意味よりもむしろファシスト 薫内部の事情が主たる理由

州移駐に関しては、日本産業の補州移転で至つてあないが、

本資本及び各種企業の大

松湾機構の現

的に受け入れる狀 滿適地適業 外國に依存してゐる重要物たのである。現に日本產業

たのだ、ドイツは最等になった。言葉は最早無意味と相してゐた公式で陳腐と化し、現狀にを強調と化し、現狀にで、東京になる。言葉は最早無意味と

大々的に報道してゐるか、論に何れもイタリー内閣改造をは何れもイタリー内閣改造をは何れもイタリー内閣改造をは何れもイタリー内閣改造をはがあるか、論は何れもイタリー内閣政治を

は交職以来敗職につぐ敗職で ・ 心身ともに疲勞困憊陣中に病 ・ 放する將校續出の有様で大別 ・ 山中の立煌において病疫した ・ 第十二集團軍長衆安徽省政府 ・ 首席廖磊のほかにつぎの如き ・ 修婚たる狀況である ・ 第四戰區副司令官余漢謀

東地に逃遁してゐるが故郷 に出てゐるが過數湖南作戰の東地に逃遁してゐるが故郷 に出てゐるが過數湖南作戰の東地に逃遁してゐるが故鄉 に出てゐるが過數湖南作戰の東地に逃遁してゐるが故鄉 に出てゐるが過數湖南作戰の東地に逃遁してゐるが故鄉 に出てゐるが過數湖南作戰の東地に逃遁してゐるが故鄉 に出てゐるが過數湖南作戰の東地に逃遁してゐるが故鄉 に出てゐるが過數湖南作戰の東地に逃遁してゐるが故鄉 に出てゐるが過數湖南作戰の東地に逃遁してゐるが故鄉 に出てゐるが過數湖南作戰の東地に逃遁してゐるが故鄉 に出てゐるが過數湖南作戰の

日滿實業協會總會

提出議案審議

滿洲支部評議員會

獨政策轉換

かっ

注目される伊内閣

戦に對する英佛の態度を痛撃

別項の如く對 た後更に今次

芬領の割譲を要求

張化を自讃した後 次いでモロトフはソ聯の地位

聯の新外

イツとの提携關係

トでなく、日滿ブロッは單なる日本經濟のマ

(源の賦存と相まつて滿洲國

[モスクワ州一日酸國通]

の終結を欲してゐるのに反し、英佛側の自己辯護論はし、英佛側の自己辯護論は である、ボーランドはヴェルサイユ條約の 質することは不可能である、 吾人はドイツを目してる、 吾人はドイツを目してる。 吾人はドイツを目して

なる、少く共今とを認めてゐる、少く共今とを認めてゐる、少く共今之意義推護の關爭と皆稱する。如此大戰を目して民主意義推護の關爭と皆稱する。

で 今次大戦に對してソ聯は一 今次大戦に對してソ聯は一 中立の維持三、戦争擴大防止、の三點を遂行せんとするものである 旨闡明した【寫真はモロトフ

將校に

病歿續出

虐たる蔣側陣營

19月33 一、防禦車地が最近粗悪になりつくある、三、電響司令部か余り後方に退きすぎてある、三、電響司令部もまた前線より隔たりすぎてある。ことを指摘し指揮官の奮起をた支那軍指揮者間に抗戦熱があるのである。

新くて中南支に醸成されつゝ ある新機運は各省團體間にも 澎湃として昂まり各黨派を網 強力の態度を示しつゝある

抗戦を拒否

際わが軍に投降し來つた敵軍 の某大佐の陳述したところに よれば去月廿二日蔣介石は各

大学ない

取引狀況 十月中の

0

本と満洲との經濟關係の

飽まで嚴正中立と

機構に劃期的な變革をもた

は日本の經濟政策及び

動の自由を保持

寧ろイタリー内閣の若返りに 福軸關係はなんら變更なく、 は政治的には意味がなく獨伊

してゐる、ドイツ政府もこれ政策に何等變更はないと强調

造は閣僚の入れ更へに止まり評を加へずたゞ簡單にこの政

のと鎌穂してゐる

モロ

トフ新外交方針

へると思ふ。建國以來

司法権行使ノ制ヲ定メラ

【東京園通】わが司法権獨立の大憲章裁判構成法が施行されてこ」に五十年、記念すべたこの日、十一月一日天皇陛下には水平宮相、百朝天皇陛下には松平宮相、百朝天皇陛下には松平宮相、百郎天皇陛下には松平宮相、百郎、新太自動車鹵簿にて午前九、略式自動車鹵簿にて午前九 司法部に行幸 **慢遅なる勅** 語を賜

裁判所構成法施行五十年記念

る敷々の事件記錄、各種締め、本の事件記錄、各種をシーメンス事件等々史上に プ氏の獨文草案、

をあげ、更に司法部では昭和を持つてそれぞれ勅語捧讀式を待つてそれぞれ勅語捧讀式を持つてそれぞれ勅語捧讀式を持つてそれぞれ勅語捧讀式を持つてそれぞれ勅語捧讀式をあげ、更に司法部では昭和 天皇陛下の行幸を仰ぎ、優渥生施行五十年記念日に長くも、東京関通』一日裁判所構成 天皇陛下の行幸を仰ぎ、優渥天皇陛下の行幸を仰ぎ、優渥

獨立に献身活躍した先輩 作業を偲ば 、天機麗はしく還幸あらに午前十時五十分大審院 一月一日

合同慰靈祭

無 靈を弔ふ合同慰靈祭は卅一日き 午後二時より南昌公園にて〇 一部隊長はじめ陸海各部隊長 の部隊長はじめ陸海各部隊長

各黨派舉

つて支援

拍車

筈であるが、大綱左の如きも見、明年四月より閉設される

新政權樹立に

一、研究機關は中央に主なる 機關を設け、北端主要各地 に凡そ七ヶ所を選定して地 に八子七ヶ所を選定して地 でイン土地の利用増進に関 する研究(ロ)農業技術に はする研究(ロ)農業技術に関

設ける筈である

目覺まし

豫阮軍の活躍

(漢耳州一日發國面)信陽に 總司令部を置きわが皇軍と協 認司令部を置きわが皇軍と協 の表面平教國策に軍と協 の最近の活動は次の如く 目覺しきものがある 一、敵新四軍の婚居する大別 山系の掃匪工作を進めつへ 政撃し強成で、 、信陽方面に作戦したの如く 国攻撃し殲滅的打撃を與へ 関攻撃し殲滅的打撃を與へ 関攻撃し強は遺棄屍工作を開始した 原軍の一梯除は直軍が出した 原軍の一梯除は追棄屍八十を残 にて四散した して四散した して四ない。 に有いる同 に有いる同 にもいる同 にもいる同 にもいる同 にもいる同 にもいる同 にもいる同 にもいる同 にもいる。 にもい。 にもいる。 にもい。 にもい。 にもいる。 にもい。 にもい。 にもいる。 にもいる。 にもいる。 にもいる。 にもい。 にもい。

策が論議された模様である に載せ各出席者の間に强化方 に載せ各出席者の間に强化方

新築落成

氣

記事 は全然別個のもので海波板加工 をは全然別個のもので海波板加工 をは全然別個のもので海波板加工 をは全然別個のもので海波板加工 をは全然別個のものでルート とは全然別ののものでルート とは全然別ののものにして決 とは全然別ののものにして決 とは全然別ののものにして決 とは全然別ののものにして決 とは全然別ののものにして決

出迷合工と全波日

利用下さい 銀座新道

商况 各地株式市况 後一

關東州48 17 2 18 靜岡

* 豪關府州育回中榮日惜人高

(東京國通) (東京國西大理外語坂田三 (東京國西大部、四回戦で文理 (東京國西大理) (東京國西) (東京國) (

績第井八統

六

左の通り 大會州一日午後の競技結果 東京國通」明治神宮國民體

神宮體育大會(廣二日

ニキロ團體追拔府縣對抗決 で一着、一般學生二千米速度競走決勝は劉讃浩(朝鮮) が三分二二秒四で一着とな

長 方不良で評判悪く、結局赤飯 小 の感じがする高粱飯が「こり 小 の感じがする高粱飯が「こり の やいける」と好評を博し雑穀 形あくまれた構洲としては是 歌 非からした代用食の研究は必が 要であると一同糧友會の努力を要望した 【寫價は試食會】

た、これによると本館は大體

於て舊觀を保存す

の權威中山克已技師が精魂をる、而して講堂の設計は斯界

かち込んで製作に當つてゐた

本士には一等から三等まで教務 本安東「夢想」鶴井精一(安東中學四年) 「実にたつべき我々日本」 「実にたつべき我々日本」 「実にたつべき我々日本」 「実にたつべき我々日本」 「実にたつべき我々日本」 「実にたつべき我々日本」 「実にたつべき我々日本」 「実にたつべき我々日本」

今月の豫定は六回

演出出来る設備である なる大歌舞伎も差支えなく なる大歌舞伎も差支えなく なる大歌舞伎も差支えなく なる大歌舞伎も差支えなく なる大歌舞伎も差支えなく なる大歌舞伎も差支えなく なる大変舞伎も差支えなく

りやいけると

お歴々も感心

試験順高梁飯が最好評

0

満洲色を紹介の 對日放送增加

マ…滿赤。恤兵院で無料診療

傷痍軍人に

を要更して十一時から軍人會 にで紡織並に滿拓當局と觀談 にで納織並に滿拓當局と觀談 にで納織がに張國務總理を訪ね にで前輩と歌談

年後四時民生部の教育趣歓迎 時十五分新京鼓列車で哈爾濱 時十五分新京鼓列車で哈爾濱

鐵支社の興電

討伐歐活躍 呈進品粗

话 声介 空肥 八甲署 助力

滋養 豐富

多山口

電話(3)三一五六番

か

?

つてゐる【カルフオルニア州 動車から釣り上げる方法にな と並行して地上を疾走中の自 と、食料品等の供給は飛行機

てゐるとの事です

犯罪を起すまで 連命の途を語る 或る女の手記

かと思ふと、全く恐ろしく成 つて來ます、今と成つては何 卒一通りの事情を知つて戴い て、四人の者を出來るだけ救 つて敷き度いと思ひまして、 書かせて貰ひました(手記は 態よ幼時の生活に移る)

三笠校一年ンプン

M·T·C·Y 新京放證局]

五五 してるたが、四はれの身にあ 五五 る毎日毎夜過去を追想して書 連行 いた手記こそ「何が彼女をさ が置筆で書いた。」の謎を解くもの を追つて見やう、これに後女 を追つて見やう、これは彼女 を追つて見やう、これは彼女 を追つて見やう、これは彼女 を追つて見やう、これは彼女 を追つてるない赤裸々な 愉快な避難旅行

戦ふ兩都市を衝く

幼兒を厭がら

へのさせ方

一日少くとも四回ぐ

吸入

は一日少くとも四回ぐらいし は一日少くとも四回ぐらいし は一日少くとも四回ぐらいし でのが有効です、数回に分けて行ふ でのが有効です、となたにもと れくらいの知識は心得でおか

を頭の右か左側にたて、タオルをこれにかけ、このタオルに向つて蒸氣を注ぎます、あたりのもやくした蒸氣を鼻がら吸ふだけでも効果は十分です子供の吸入には、一パアです子供の吸入には、一パア

有司 京花













時節

向向

3

。 ソリタスネサイ。 サヤンニカカラダ ナウナウキン

投資の栞御中越し次無進呈

(大連) 經濟市況 與7極79年食堂、宴會爆製備・

四四三二一〇、領原工象三トア

太都 弊へ三か

の番組 日本橋通り五

大部
ホ 雅+ 茶室、 撞球螺 名空卓上電話 #

惡疲流行の秋

しませう!

アカシ 大連 なる 先づ御台所用品を活潔に 衛生的で使用至って簡便

脚気・貧血・結核 他本に根果ない方 でに腹を填す方 でに腹を填す方 こんな方に 服みよい鏡剛・九〇 一大〇 3 青い顔をしてゐた 使がての通り元氣はつらつと活動出来るやうになつたのも、新出来るやうになつたのも、新出来るやうになつたのも、新出版の成生鏡を愛用したお答えをいる。で一日中気分が高いしくといいるので一日中気分が高いしくといいるので一日中気分が高いしくといいるので一日中気分が高いしくといいるので一日中気分が高いしくという。 KOSERIE 社會式株 五十町茂加市天奉

日本遠征餘滴 奥子聯 軍 の 躍進 で舉行された全日本男子一般 選手權大會を異色づけたもの は勿論輸出車であるが、それ

では、
のマークをつけ各地に支部を 散け、
會長に宮田貴族院議員 で推し毎年「百歳會東西對抗 を推し毎年「百歳會東西對抗 を推し毎年「百歳會東西對抗 ある、満洲の庭球年齢は最に ある、満洲の庭球年齢は最に ある、満洲の庭球年齢は最に を述べて置いたが、百歳どこ ろか五十歳が維事で、それ程

理東京で正親理事等と親しく話りとすれば、満洲國の庭球ありと誇張したい、即ち満洲國の庭球かありと誇張したい、即ち満洲國の庭球とは何い、即ち満洲國の庭球とは何

地 (大) は (大

らず」との をいが、併し吾々渡り このの凡ての気持は満洲國には 満州國の庭球ありと誇りたい これた思想、他か ・にた思想、他か ・にた思想、他か

他より輸入された思想、M ら持ち込まれたスポーツは 一國に住する日本男子とし の赤裸々な氣持であつて20

長春

醫院。

院長 徳 丸スガ

電(3)六二四一番

新京神社/スグ前

の地位や肩書を利用し€最も 神聖なるべきスポーツ精神を がては選手自體の身上にまで がでは選手自體の身上にまで 許すべからざる重大問題で、 許すべからざる重大問題で、 を必要があらり、此の點日本 の各地を通じて大いに数へる でき點が多くあつた、右につ では後日筆を改めて書くこ

供かも井の中鮭大海を知 奴は飽くまで我田引水的 奴は飽くまで我田引水的

洲庭球化する事にある、

これた選手や、同胞半島のる、祖國日本から新には至つて幼稚なる

婦人セーター 婦人ショール

袋

四〇(哈爾濱)北浦の(霧語)

白衣の勇士の觀 最後の地廣島に於ける試合は 年後一時より開催されたが、 定例前約一個大線の傷病酸士 の来場により吾等一同疲勞も 打忘れ、急に元氣百倍し一球 一打葉晴しき當り振りに、向 ふ處敵無しの檄を示したのは 此の廣島での最後の った、かくして終始感激裡に のた、かくして終始感激裡に った。

全日本軍の来滿に際しては、 我等一同の與へられた此の感 選手諸君に返し、戲式避珠を 通じての日滿親善の機を永く 随保すべく心から祈つたので あつた

金

全滿洲庭球軍

一百歳 會庭珠 東京で大島理事に百歳會と地 大ことがあるが、そうした色 形は毛頭ないやうで、鬼に角 形は毛頭ないやうで、鬼に角 心に百歳會員の發達は顯著な 心に百歳ののである、肩に百歳會と地

等で萬引した約五十回、品種ので、寶山、金泰、森野書店ので、寶山、金泰、森野書店ので、寶山、金泰、森野書店ので、寶山、金泰、森野書店の後取調べの進むに從つて

物愛する直前、日にしろ生れて最初なので

に擔はれたランドセルの線な ガスマスクのみなのです、避 難地に於ける見童の日常生活 はロンドンの様に學科を中心 としたものでは無く寧ろ運動 を中心として、しかも其の間 農民の仕事を徐々に教へ込ん

伯林見も話の落は食物 B

■ (新京) 今日の二番組番組 (新京) 今日の二 一九(東・新)時報・

A SIA

秋の洋品

電新京語京

時七後午=昨儿前午 光線療法科 レントゲン科

合綜谷鹿 診療時間

階二ルビ陽青目丁三町祝院本 番 八 七 八 四 (3) 話 電 階一ルビ安興路大安興 院 分 清髙 博多式 水色色 酒級 潇 洲 北を新道、電三六六〇三

櫻 新京櫻屋商店

0

前

躍で、し

おう、食べるものがなくておう、食べるものがなくておう、食べるものがなくてなる。食べるものがなくてなる。食物を指す、そこの文字を指してやる)お、その男は失業してみたんだね。(覧うなづく)お、お……(新聞を融みながら、又彼の手振りを見てゐる)その男は同なでしてある。その男は同なでしてある。その男は同なでしてある。

いに喜ぶべきことであると思ふ。 事である。これは大いに喜ぶべきことであると思ふ。 健来の同賞は主として古い方の文藝をやつてゐる人たちに與へられて來た。現在この國にも古い方の文藝と新ある。しかし文化の推進といふことを考べるならば、新ある。しかし文化の推進といふことを考べるならば、新しい方の文藝に授賞することは事實である。そして古い方の文藝に授賞することの方がより大きい意義を持つであらう。この意味で先づ喜んでよいのである。これは近く出る『婆文を書いてゐる人をあることも確かである。との言葉でこゝに先鞭がつけられたことをも喜ぶのである。 これにおが、更に悠々二百枚の小説「平沙」を執筆し、これは近く出る『婆文志』の第二輯に發表されるといふ。 は近く出る『婆文志』の第二輯に發表されるといふ。 は近く出る『婆文志』の第二輯に發表されるといふ。 は近りに氏の健康と文祺を祈るものである。 これは大きな刺られたことをも喜ぶのである。

取り吸の手振りを見てゐるかし壁は彼に新聞を押しつける。彼は仕方なくそれをける。彼は仕方なくそれを

を食 (やはりテイテイタ、 は仕様がないもんだ。 は仕様がないもんだ。

乞食 (直ぐそれを受けて) 「辛いと言へば辛いにも色く、こちとらこそ本當に辛 うがさあ、もう本當に発り すがさあ、もう本當に発り すがさあ、もう本當に発り テイタ、テイテイタ、テイ テイタ、テイテイタ、テイ ライタ、テイテイタ、ティ ライタ、ティティタライタ ライタではつしなんまり うるさく言ふな。

達

でして出て行く。) をして出て行く。) をして出て行く。)

翠

寒い

困るわね。

仁義禮智信を心得

乞食 きしわ

達 (新聞を持つて護む、それを草の上に投げる、椅子の背に倚り、仰向いて長嘆のすに合う、

は未練らしく何か 口 の 中で ぶつ (一言つたがやがておそる (一声に手をかける。 と、十つと横からすりぬけ て若い頭をきれいに無でつけ て若い頭をきれいに無でつけ ことので何か嫌いて、博士のそばによつで何か嫌いて居る。 「何を言ふんでせら。」 もう何か書き出して居た博士は急に顔をあげてぢつと睨 かし後の面には唯、恐怖の色 たけだ。ぶいと日をそむけて 「旦那。すみません。」 いきなり言つた。折角、少いきなり言つた。折角、少し無理に落ちつけた心も、頭をまいた物々しい繃帶と白いシーツの上の死相の限どつた度せた面を見た途端、きゆんと縮み上つて、自分で何を言ったと縮み上つて、自分で何を言った。一般をいません。」

さらですよ。」
「こうなるのも、自業自得。
前から定まつて居た事だから
それでも、これでやつとわた
しも安心したよ。」
以前も今と同じやうな色觀
のわるい顔ではなかつたらう
か。白い目で上向きに無理な
記線を送つた鼻の下の長くな
つた年寄の言葉を聞くと、
切って呪ばれたやうに不氣味で うに捜すのと、無我夢中で「 死んだやうな唇から喘くや た、舌が乾いた唇をなめた。 たけれど、此の質は早くお前 ぐたけれど、此の質は早くお前 ぐたきくなつたお前さんを見た 状きくなつたお前さんを見た ますまないと想ふよ。でもお 変 ひががら、仕方ないと思っ いって、怨みは忘れる事にしよう れ

こよく、お前さんの圏が見たいないが……。誰も居ないねに、早く話をしよう。わたしはねお前さんを山の中に捨てム來た。朝鮮の山の奥でだ、生れたばかりだつたが…。それは、糸坊との間にいたずらなんかとを数の命とりになるだからなんからばかりだって言つたからばがりぢゃ 一言・トおし借して、他か 「一言・トおし借して、他か

病室から出て來て苦笑しなが

でどうも、時々有難くない客が来てね、あゝ。先刻の運轉手は何處へ行つた?何。居ない。そんな事はないだらう。 今氣が抜けたやうな顔をして 此處に居たもの。遠げるやう

聚京小川

大日本雄辯會議談社

⊚おいはひに= **◎おみまひに**=

本繪の社談講

の 前映で明朝な漫畫の繪本の 高朝ましい支那事變の繪本を動詞知識の繪本や繪手本の 急巨や辛子や偉人の繪本

講談社の繪本には、

七の他各種の給本が出てゐます。

◎ごはうびに=

でいる。 はがあるうちに來るだ であるうちに來るだ 蘧

各地書店にあります

東が異線に保へて笑ふやうな、物凄じい顔になつた。 「運轉手ならいよよ。親父の外、人をひかなかつたら、一生、食つて行けるがらね。」 運轉手は一言も言はなかつたら、一生、食って行けるがらね。」 では、目をキラくとさせてた。唯、目をキラくとさせてた。唯、目をキラくとさせてた。唯、日をキラくとさせてある主領の唇を、怖ろしげに 成り居るやうて ** 富んで居るといふことは、 富んで居るといふことは、 で居るといふことは、

定價各五十錢(爵)

夏」を添く、下供とと子の娛樂室、日の特別讀物「母と子の娛樂室」「日の

漫畫とお話ー

注文下さい。 豫約募集 全十五卷

で現品一覧下さい







六六三〇三

草の上に置く、手切り 語を生やしてゐる、キ と來る、單衣の挿子、 と來る、單衣の挿子、 と來る、單衣の挿子、 労をし、「アア」と に置く、手振りで銭 に置く、手振りで銭 といふことを示す、

はないない。 すん、阿片がなくなつてしまった……う すん、阿片がなくなつてしまった…(見分は河に跳び込んだといふんだな、何? (新聞を讀む)おゝ、河に 跳び込んだ所を、警察に補い まつたといふんだな、何? (大きくらなづき、手を 差し出し)あ…はあ…… る、直系親屬を謀殺したも のとして監禁されたのだ。 のとして監禁されたのだ。 を差し出し)あ…はあ…… を差し出し)あ…はあ…… を差し出し)あ…はあ…… でのとしてな子だ。(立ち上 供は食はうとしなか何?(新聞を見る)、べさせたといふんだべさせたといふんだみな死んでしまつた。 吐き)うらん、子供はせたといふんだな(齎して甘い菓子に混ぜて食 ディティタ、ティティタティタティタとやり) 「へえい、いゝ話を隨分お聞かせしたんだが、何とか惠んで下さいよ、こちとらにしたってさら見楽でたものぢゃありません、詩の話もしまってさら見楽でたものぢゃありません、言綱に五常も心得てまさあ、本を讀んで居り 日系作家と

上古り後です。 大内 校正の時にやるつもりで居つたが、今度は木屋の都合で委せてしまつたものですから。 「原野」は勿論建國 ですね。 さうです。 比較

盛京文藝賞

授賞本年度の

事である。これは大 事である。これは大 まである。これは大 ことに決定したとの ことに決定したとの 長谷川 僕はそれで考へたんですが、大連で讀む場合と色々感じが遠ふと思ふ。共處に「原野」の面白味があると思ふ。共處に「原野」の面白味があると思ふ。共處に「原野」の面となった。れるのであると思ふ。新京だられるのであると思ふ。推薦の辭を見てもこれが本當に取上げられて、我々が真面目に受取れなひものがあると思ふ。推薦に受取れなひものがあると思ふ。推薦を見てもこれだけで簡単で、取上げられたけれるが觀點で、取上げられたけれども我々が一緒に満人と生活して提携もしたいと思ひますし、さら云ふ場合にどうしようかといふことは我々が一緒にごうかといふことは我々にした。 ますね。

見

る

今村 満洲の日系作とも5一と通り頭とも5一と通り回

いふ風に想ひますか。 一般的傾向と比較してどう 一般的傾向と比較してどう それは大いに選ふで

とういふ點がはつきり

| 関係の記事(関東軍司会所) 大田の (関東軍司会所) また。 (関東) (五九號)

△ 満洲評論(十月廿八日號) 時評「全聯と隻手の際」「 時金部新設への期待」「維 所金部新設への期待」「 来大使の演説について」「賃銀協 報統制について」「賃銀協 報が済と戦争、下 「毎(大連、満洲評論社、 「等(大連、満洲評論社、

四

批評になる

表名川 やはり生活が二重性を持つといふことなんだねつまりAであつて、もう一つ外にAと云ふものを背負の込んで居るといぶ悩みだね。

長谷川 小松さんは第一印象 はモダニズムと云ふやうな ものを感ずるね。スタイル といふやうなものを感じま ますからね。氣候、風土、 馬車が居つたり、凡でがロシャ的な風景が非常に面白シャ的な風景が非常に面白シャ的な風景が非常に面白シャ文像を我々に近いものと感ずる。さらいふ意味で田兵さん。これは非常に好ましい作品だと思ふんですね。 お話願へると良いの一つくに就 でさら云ふことを一つは感じるし、もら一つは一般には言へないことだけれどもは言へないことだけれども日本人の書く作品はどらもひよわい、弱い感じを受けることが多いやらな氣がするのです。さら云ふ點でやはり現在までの所は此の肌 だ調査研究準備の不足と

なか

を食 有り難うございます。 と食 有り難うございます。 は高升入つて來る。) (編升入つて來る。)

つそりカーテンをのぞく) て御魔なさい。 (二人はこれ) まあ見

んだ

今村 作品だと

て簡単に

かれて居りますけれどもま

今村 素材の取上げ方は間違って居ないと思ふが、只だ重壓感、それに提へられずに、突破つてそれを抜けてその上に自分の生活を建設しようとすれば非常に良いと思ふんですが。と思ふんですが。と思ふんですが。と思ふんですが。ますからね。氣候、風土、馬車が居つたり、凡てが中馬車が居つたり、凡でが中馬車が居つたり、凡でが中

つは最近は満人物の名前

審別係の記事(陽東軍司令 新) 本吉林(十月號) 本大吉林(十月號) 情」大場丈夫「市縣族めぐ り永吉縣の卷一」その他(ち永吉縣の巻一」その他(度送宛社新介



院 医 利 吉 編編編編成成 地震大四 4 地東中

幼兒の生活訓練に

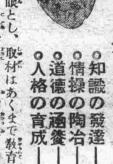
忠義の心、

申込殺到、又殺到の人!この感激!

のこの顕青記録

兵剣に工夫をこらしてとります。 流むやうに、面白く美しくと心がけ、 を主眼とし、敗材はあくまで教育的に 新刊明

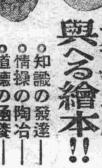
トランケ病院 作品を損品でも叮嚀迅速 を行用を関係に付大安覧! を行用を関係である。 を行用を関係である。 をでは、 をでは、

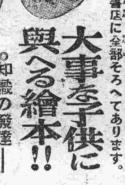


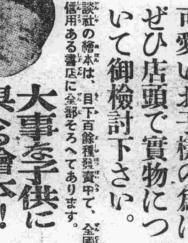
御覧下さい。(三大附録つき特債七十銭)

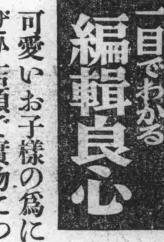
ります。

T 10









目でわ

できか? これこそ死を期して戦野を配く全勝兵の胸にできか? これこそ死を期して戦野を配く全勝兵の胸にで、安は、子供は如何に生く 愈~發表!!

人俱樂部十一月號に 題 0

父なきあと、猿 說

生ける遺言である!と激賞! ◎吉川英治氏は



を食用軍は度一に週一 分食一の飯御函一











にてお見違へる程美しく致します術はニキビ、ソベカス、シミを除去し而も安全な漂白法獨特な機械設備による現代科學を高度に應用せる美容技

配町三ノ

■話③五二三八



无

美

達用御部令司軍東關

品。技術に定評ある當院へ秀パーマネント機二台ドライヤ七台增設使用薬品は最良時局柄清楚な髪型を御奬め致します米國製シエルトン優

獨特な化粧法と東京一流の美容技術者の長所を採る嶄新 な着附法にて(カツラ及最新流行柄振袖御需に應じます) 禮 ト・ウエーヴロ 支 度

秋晴に最高潮

神宮體育大會第四日

大臣賞鈴衡協議 水年から藝

教育視察團 張總理と交驩

を傳呈

全市を六區に分ち

區整理斷行

第七回新京市街地區長舎職は 間の意見と完全なる一致を見 要自職屋副市長、売行政科長等が出席、勢頭 関本行政科長等が出席、勢頭 機田財務處長、舟田庶務科長 機工財務處長、舟田庶務科長 長日本内地行政見學に關する 長日本内地行政見學に關する で近く其體案を更に協議する 事に決定、次いで大經區提出 の「孔懐清の土地紛争問題に



保事の大經路西の國都建設 する見込である、四年越上 する見込である、四年越上 する見込である、四年越上 する見込である、四年越上 する見込である、四年越上

飛行機を献納

全滿の醫療關係起つ

「病人」:漢,營養食」

事內

務

送順路に變更あり左の如く決盛會を期待されてゐる、尙邏を約り展げることゝなりそのりつぶされ酸嘯壯觀なる情暑 傷兵輸送用に

■ 送自動車 △ 新京飲食店 ● 一名版納式は一日午後二時國防會館館 第三次主さぶ中に行はれた、愛國第 組長以下五十名が参列、植村新京神社 を命名されたが、式後新京號は市内を を命名されたが、式後新京號は市内を

一選芽機度く陸軍和高主となって、東軍に厳勢する事業に厳勢する事業の大・市川、東川両副官を軍から高木副官を軍がの高木副官を変えて、大・市川、東川両副官を対した。

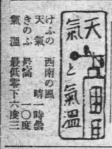
車「新京號」献納に續いて今度は新京號」献納に續いて今度は新京號」献納に續いて今度は新京號面會、遊菜組合、滿鐵階上。 一段生部保健司、溝銭保健課後援のもとに傷病兵士輸送飛行機二機を献納する事になり全横二機を献納する事になり全衛にも呼び掛けて献金募集を合にも呼び掛けて献金募集を付ふ事となつたが、一口一圓以上で十二月二十日を以つてある。

→ 大野零で朝鮮城道局優勝 ・ 大野零で調解東對全北海道職は ・ 大野零で調解東對全北海道職成 ・ 大野零で調解東對全北海道職は ・ 大野電子で表別で、関東對全北海道職は ・ 大野で展開を被力に於て行はれたが、、 ・ 大野で展開を被力に終したが、関東は技術で表 ・ 大野で展開を被力に終する。 ・ 大野で展開を被力に終する。 ・ 大野ないので、関東は技術で表 ・ 大野ないので、関東は技術で表 ・ 大野ないので、関東は大が大大 ・ 大野ないので、関東は大が大大 ・ 大野ないので、関東は大が大大 ・ 大野ないので、関東は大が大大 ・ 大野ないので、 ・ 大

米團體競走

展並びに同大會に滿洲國回教 に大きとして派遣される代表 を決定、十日午前八時十分新 京登列車で出發する 合代表 = 第一軍管區司会部門 中央本部屬託張世安、協和 を決定、十日午前八時十分新 時軍歩兵上將洪警派、協和 か協會總務科長韓陽洲、協和會 本才ザリバ路 = 哈爾預許公 所属等教長劉總卿、協和會 本が、協和會 本が、協和會 本が、協和會 本が、協和會 本が、協和會 本が、協和會 本が、協和會

氣天



本中等準々決勝 本中等準々決勝 1 31:20 1 31:20 48 季川 48 季川 東州十位市が優勝した

れる日本

滿洲代表決定

日本蜜繁株式會社事務花岡千七本蜜繁株式會社事務花岡千七本宝工に関係方面を招待である。同夜六時からヤマトホテルに関係方面を招待である。 花岡日賣專務

部部部

を紛失中央通署に届け出た折財布(現金百七十圓在中) 時水煖機 道 房 械

部

會株社式 出張所 店

工業株式 艾 店 事天市信濃町一三番地 電話②二〇二二番 か 事業路・2011年地 本大市信濃町一三番地

两 問

天津、北京、青島、東京 電話代表 (2) 五六00番 地方、青島、東京

紙書加 卷 會 合 名 電 ③ 六六二二 六六一八 三三六四 五六五六 洋

文 用 文 具品具 紙具 日本橋通

高

級

紙學和 校洋 工用帳 品品簿

郷軍の饌米遞送 式次第も本決 よ七日孟家屯

組合結成を協議

り訓示あり同五時三十分解散り調示あり同五時二十分看)

陶

器

製

世本橋通三笠町二丁目角 日本橋通三笠町二丁目角 八人

商店店

H

りの夫人】 りの夫人】 野 政局のスリ 東三 株通四十科野洋行方甲斐キヌエさんは一日午前十時頃日本 橋通郵政局切手貿場窓口で切置にた財布(現金二十圓在中) を掏られてゐるのに氣付き中 郵政局のスリ

カフェー赤玉から銀座薪道そ午後十一時五十分頃東一條通二二兩末安雄さんは三十一日

日午後五時二十分發あり、一年後五時二十分發表の一十分發表の一十分發表の一十分發表の一十分發表の一十分發表の一十分發表の一十分發表の一十分發表の一十分發表の一十分發表の一十分發表の一十分發表の一十分發表

支給する場合の関係が かに働ける店、旅費

ビン行女給さん募集 株式會社間組新京出張所 業 電 日本極通七三 電3.5163

四日迄に來署相成度採示四日迄に來署相成度採示 科別 人市 事公

日系滿系各若干名日系滿系各若干名 股署

花柳病科 入院隨時 電③五七〇九番老松町一六

震壓書持多十一月 双 數品 產婦人科 鏡 Name of the 目丁二町野吉京新

を期す積りである を期す積りであるが、多大 を期す積りであるが、多大 を期す積りであるが、多大 の萬難を伴ふのであるが、多大 の高難を伴ふのであるが、多大 の高難を排して急速に完成 の高難を排して急速に完成 の高難を排して急速に完成

る官廳、大會社、工場を除く りの依賴による各區内に於け 給參考のため日滿商事會社よ

堅指導者近

である、地質の問題等も考し、地がず圓滿に解決する方針が動物時間題も傳家の實力を地紛爭問題も傳家の實力を

議案「日滿瓜慰問金に關する内に行ふべく可決決定、第三内に行ふべく可決決定、第三

受害の補助機關:

お茶と

ほなつざい

新京吉野町一丁目 お茶道具は

合の郵便自動車がはしつてく

杭州への街道

銀左京路

高洲國總配給所へ電話3五一三六番

ほれつぎ

中央通り

なんて包ひだり

をの眼が、いった それからして

しかし彼は、しばらく山なっ、残忍性の博覧會である。 あつても、皮の剝がれた…

死 関(4) ・ は、死んではゐなかつ
た。しかも、身に数弾ところ
か、微傷も負つてはゐない。
射たれたと、見せかけてド
ブンと落ちこみ、手早く、靴
を脱いで沈みゆくやうに見せ
かけたのである。

1 L

列車發着表

日業內

栗 虫

美郎



神野 イン は 灸

紀便スス炎



世は、かたはらの

トラック に依る 大和運輸公司 電(ミ)六九〇八番 関越及建築士木科一般 関連を登場・大和〇八番

古光堂族院

まナマルイ 新開通電話(3)がナマルイ番 新開通電話(3)がナマルイ番 ……三と〇一… 五四六七 限るくる品用

金融即時・長期秘密電話の興相談は最も信用もる

平野工務所 東東三馬路自疆會 大衆深跡にき者 東東三馬路自疆會 大衆深跡にき者 東京東三馬路自疆會 大衆深跡にきる 東京東三馬路自疆會 大衆深跡にきる 東京東三馬路自疆會 特效樂安心散特效樂安心散 三笠町三一十七

高價買

222222



の議る三人士 ブ印 四代 立書案

剛金金金 八八四六 十十十十



五九八八五

清水堂鍼灸院



要集 日、満入事集 日、満入事集 日、満入事事を持事務員ボーイ其他



| で換自由| | 大変を表と

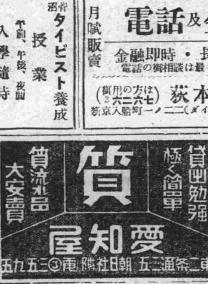
おでん

惠

貸衣裳

市野町二丁目 高路 店

能



賦販賣



日本タイプライター株式會社



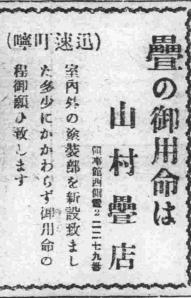


看

极

显四九路徑太京新

图三六一二(2)話吧







肛花内

